

大網駅南地区まちづくり方針（素案）に関するパブリックコメントに寄せられた意見及び市の考え方

<意見公募の概要> 【募集期間】 令和8年6月10（水曜日）から7月10日（金曜日）まで

【意見総数】 4通（個人4通）

【意見の提出方法】 メール3通、持参1通

番号	意見	市の考え方
1	（P1「方針の目的」、P7 総合計画の将来像、P17「目指す姿」目標1・2、P18 方針1） 当地区を「市の玄関口」にとどめず「外房の玄関口」として位置づけ、“都心に近い田園”という固有の価値を中心に据えてほしい。	大網駅南地区を「市の玄関口」と位置付けているのは、市の最上位計画である総合計画との整合を図ったものです。そのため、本方針は原案のとおりとします。なお、「外房の玄関口」や田園環境を生かしたまちづくりについてのご意見は、今後の事業化の参考とします。
2	（P17「目指す姿」、P21 まちづくり方針図、P29 駅前広場の整備イメージ） 玄関口にふさわしいか判断できる景観パース・シュミレーションを示してほしい。（特に高架駅から見渡す駅前の見え方）	駅前空間の整備では、市民に完成イメージが伝わるよう、今後の検討段階で景観パースやイメージ図などを活用することを検討します。
3	（P16 サウンディング型市場調査の所見、P18 1①⑤、P21 「駅前商業ゾーン」） 商業エリアは画一的な郊外型駅前を避け、長く愛される観光地・まちなみの研究を踏まえた方向としてほしい。	駅前商業ゾーンは、地域の特性や市場性を踏まえ、長く親しまれ、にぎわいを生み出す土地利用を目指します。いただいたご意見は、今後の事業化の参考とします。
4	（P16 サウンディング型市場調査の所見、P19 方針2①③⑤、P21 「駅前居住ゾーン」） 住宅エリアは水田の牧歌的風景を資産と捉え、画一的な分譲地ではなく大胆で個性のある土地利用を検討してほしい。	駅前住宅ゾーンは、周辺の田園環境との調和に配慮しながら、多様な居住ニーズに対応できる土地利用を目指します。具体的な土地利用や街区構成は、今後の事業化の中で検討し、ご意見も参考にします。
5	（P18～20 まちづくり方針） 業務地区としてのサテライトオフィス、IT企業の誘致や医療施設、学習塾等をコンセプトとして示したらどうか	導入する施設は、地域特性や立地条件、市場性などを踏まえて検討します。ご提案いただいたサテライトオフィス、IT関連企業、医療施設、学習塾等についても、今後の事業化の参考とします。